

パナソニックのDXを支えるデータアナリストが語る データドリブン組織実現に向けたデータ民主化の鍵

バックオフィスDXPO大阪

2025年3月11日

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

データ&アナリティクスソリューション本部
小柳 祐貴



“データドリブンな組織”と聞いてイメージするのは右図のような状態。

各職場の担当者レベルでは実施しているという組織は多い。

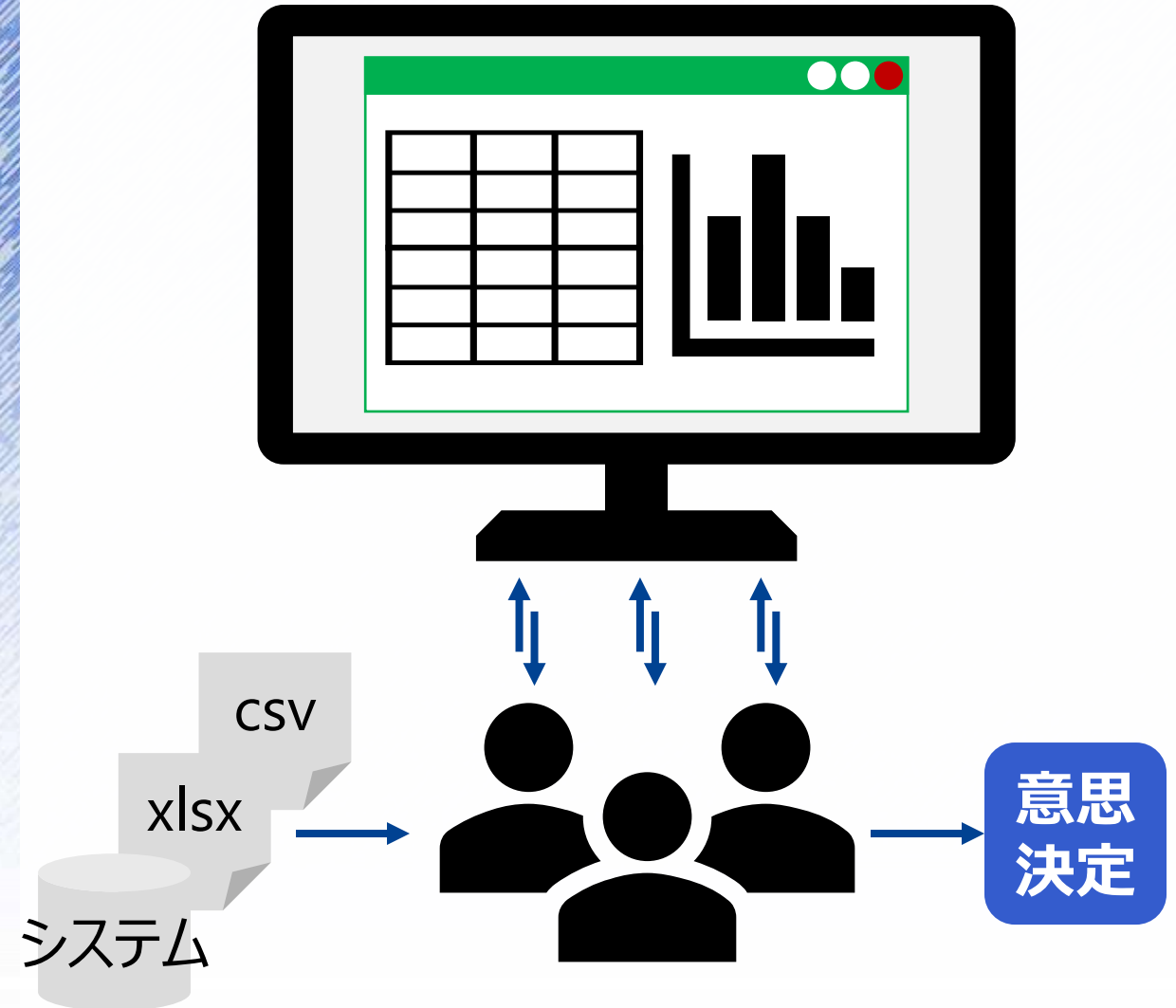
一方、職場全体がこの状態に昇華できているという組織は多くない。

本日は、私たちパナソニックISが

- パナソニックグループで直面した課題
- データドリブンな組織に変えるために何を考え、課題をどう乗り越えてきたのか

をご紹介します。

データドリブンな組織イメージ



意思
決定

パナソニックグループの目指す「変革」と 我々の役割

お客様サービスのDX

デジタル技術を活用して
「暮らし」と「しごと」にお役立ちをご提供

幸せの、チカラに。



事業オペレーションのDX

ITの変革

オペレーティング・モデルの変革

カルチャーの変革

デジタルと人の力で
「暮らし」と「しごと」を
幸せにする。

PX

Panasonic
Transformation





7つの原則

ITの変革はPXを支える土台

原則① 全てはステークホルダーの幸せのために (組織・企業文化・マインドの変革)

原則② 経営者が責任を持つことをコミット (実行を誓い合い 全員が直筆署名)

原則④・⑤・⑥

業務プロセスの変革

業務プロセスを絶えず進化させ 競争力の源泉とする

- ① システムを作る前にプロセスを変える
 - 無くて困らないプロセス **ムダ** → 廃止
 - 必要+差別化できないプロセス → 標準化
 - 必要+差別化できるプロセス **競争力** → 進化し続ける仕組みで標準化
- ② 標準化したプロセスをシステム化し リソース創出

徹底して簡素化・標準化 → システム化 → 経営者が見届ける

原則③

データ利活用

「お客様を誰よりも理解する会社」になる



多様な顧客接点を統合

原則⑦ データ・テクノロジーを利活用できる人財を拡充

会社：パナソニック インフォメーションシステムズ[IS]

パナソニックグループのIT中核企業として
ビジネス要件の理解～IT構築～運用まで担う

部門：データ&アナリティクスソリューション本部

“データ&アナリティクスソリューション”のワンストップ提供で
パナソニックグループの**データ活用の高度化**を支える



データドリブン経営の加速

右図：パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社[<https://panasonic.co.jp/is-c/>]

左図：データサイエンティストのミッション、スキルセット、定義、スキルレベルを発表 (一般財団法人データサイエンティスト協会) [<http://www.datascientist.or.jp/news/2014/pdf/1210.pdf>]を元に弊社で作成

経営・マネジメント・現場の各層で 意思決定を迅速化
データドリブンな組織へ

従来のデータ活用

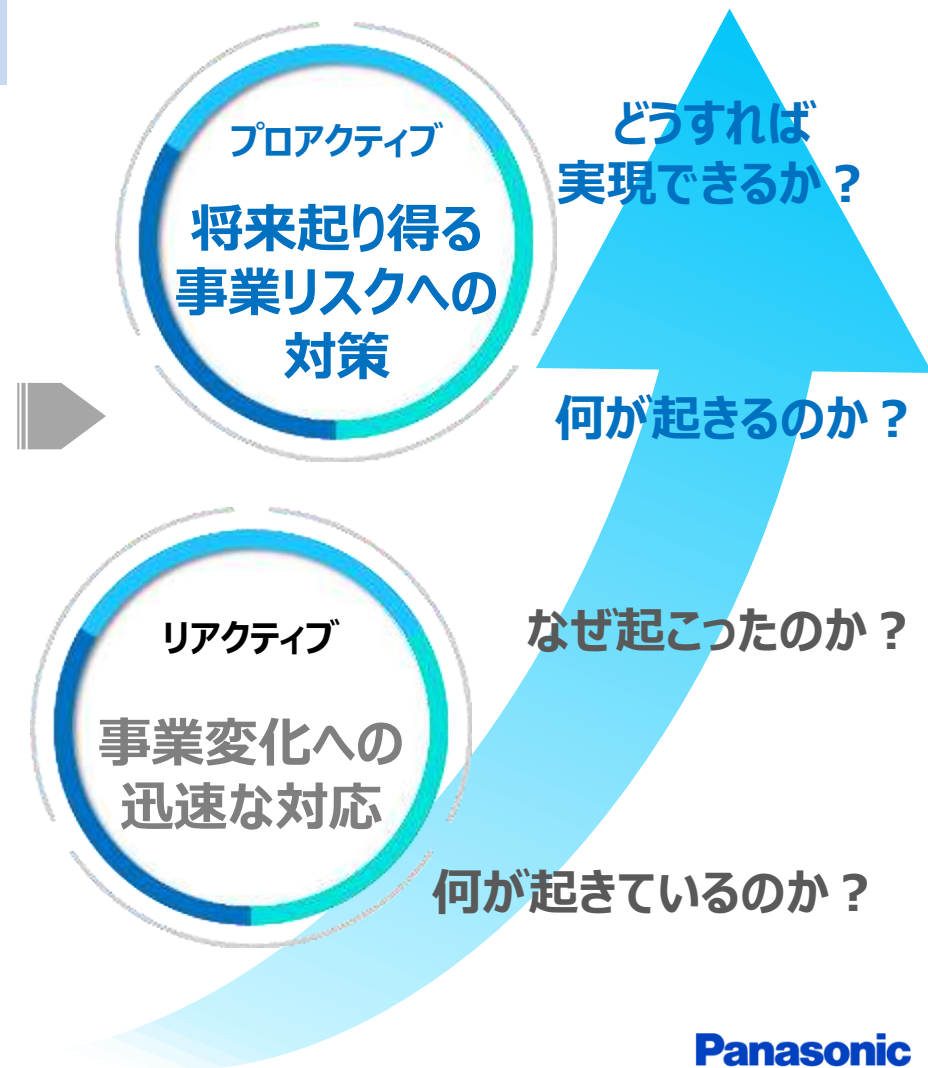


- ✓ 専門家による分析
- ✓ 限定的なデータ活用

あるべきデータ活用



- ✓ 現場による分析
(「事業理解」に基づく「データ分析」)
- ✓ 常時データを活用
(「分析」と「意思決定」の一体化)



事業現場をデータドリブン組織に変えるため **徹底的に寄り添い伴走する**
単なる改善案の提示や画一的なツール導入ではなく **IT環境整備&意識醸成まで担う**

初期フェーズ

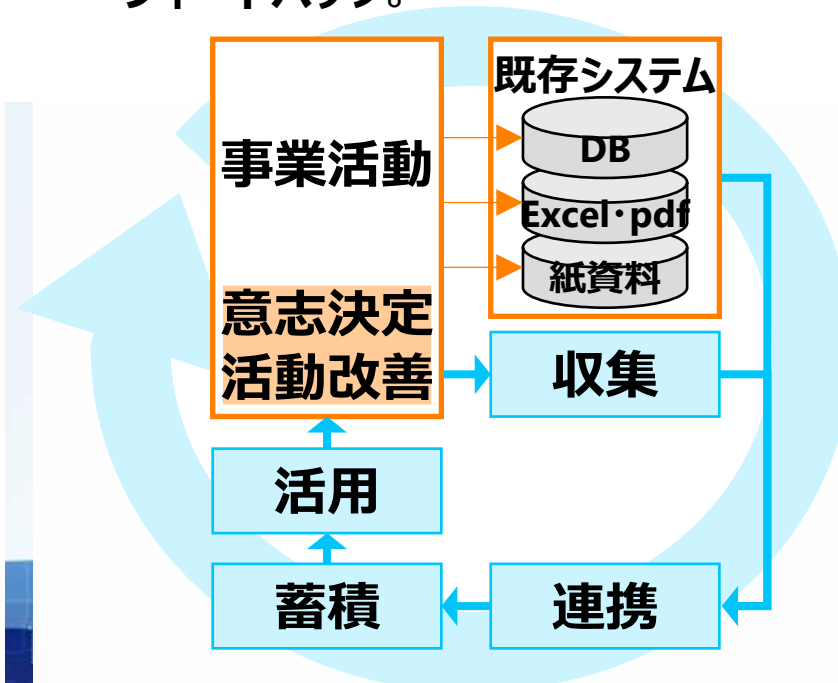
ビジネスアナリシス

- ツールや技術の導入から先行せず、業務ニーズや課題をヒアリング・整理。
- あるべき姿に向けた **ロードマップ**を描き、お客様に適したデータ活用サイクルをご提案。

中期フェーズ

データ活用サイクル構築

- 事業活動の結果を次の事業活動に **フィードバック**。



最終フェーズ

データ活用トレーニング

- パナソニックグループで培ったノウハウで、お客様の社内人材による **データ利活用の自走**を支援。
- 事業活動を自ら改善していく **マインドを醸成**。

データドリブン組織

データ民主化

誰もがデータを
使える状態にある

×

マインド醸成

誰もが自らデータで
意思決定を行える



※便宜上フェーズで区切っていますが、実際には同時並行で推進します。

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

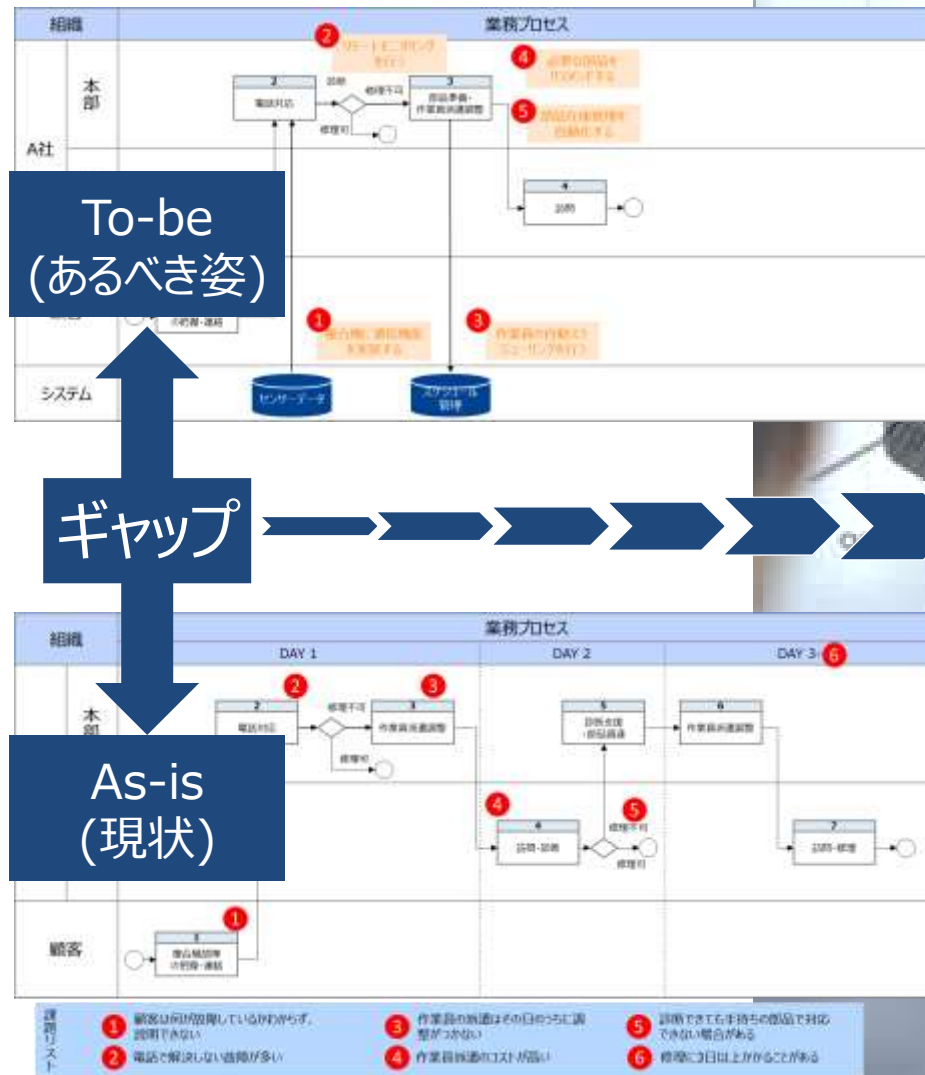
ビジネスアナリシス と データの収集

KEY POINT

鍵

現状把握が不足していると 不要な仕組みやシステムの導入に繋がってしまう
 まず最初に お客様に適したデータ活用サイクル実現に向けた**ロードマップを描く**ことが重要

- 初期フェーズ**
 ・ビジネスアナリシス
- 中期フェーズ**
 ・データ収集
 ・データ連携
 ・データ蓄積
 ・データ活用
- 最終フェーズ**
 ・データ活用
 ・トレーニング

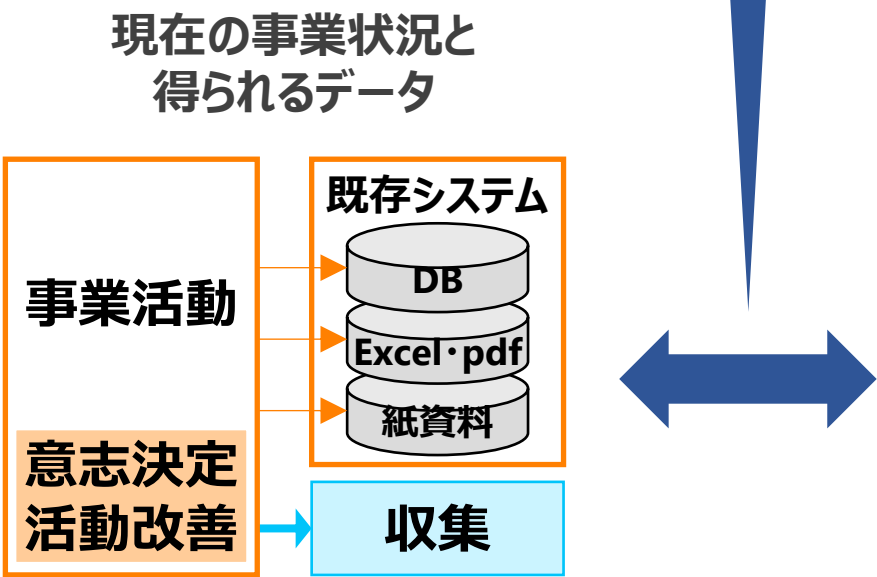


施策検討

原因ID	根本原因	取組ID	取組	取組概要
001	機械に通信機能がない	001	自動モニタリング・予知保全の実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 複合機に通信機能を実装し、センサーデータを収集・蓄積・分析する ● 異常を探知し、アラートを挙げる ● 蓄積したデータで予知保全を実施する
002	リモートで機械をモニタリングする機能がない	002	必要な修理の特定・適切な部品の選択	<ul style="list-style-type: none"> ● センサーデータから故障診断を行う ● 修理に伴う適切な部品をレコメンドする
003	自動診断機能がない/精緻化されていない	003	部品在庫の最適化	<ul style="list-style-type: none"> ● 部品データを蓄積し、在庫数を最適化する ● 部品の利用に応じて自動的に調達する
006	作業員の扱いが可変のため、待遇を上げざるを得ない	004	作業員のスケジュール最適化・自動化	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業員、車両、訪問先データを連携し、スケジュールの最適化、自動化をする ● 修理作業の時間を見積り、無理・無駄のないスケジュールを組む
007	修理実績データが生かされていない	005	消耗品自動発送	<ul style="list-style-type: none"> ● 消耗品をモニタリングする ● 自動で消耗品を顧客に発送する ● 消耗品データから在庫を最適化する
008	部品インベントリを自動化していない			

施策実現に向けて**既存データでは足りない要素がある**
 現場の動線や機器の状況など **実態を把握できていない**

- 初期フェーズ**
 - ・ビジネスアナリシス
- 中期フェーズ**
 - ・データ収集
 - ・データ連携
 - ・データ蓄積
 - ・データ活用
- 最終フェーズ**
 - ・データ活用
 - ・トレーニング



あるべき姿に向けた施策案

原因ID	根本原因	取組ID	取組	取組概要
001	機械に通信機能がない	001	自動モニタリング・予知保全の実施 ² ₆	<ul style="list-style-type: none"> ● 複合機に通信機能を実装し、センサーデータを収集・蓄積・分析する ¹ ● 異常を探知し、アラートを挙げる ● 蓄積したデータで予知保全を実施する
002	リモートで機械をモニタリングする機能がない	002	必要な修理の特定・適切な部品の選択	<ul style="list-style-type: none"> ● センサーデータから故障診断を行う ⁴ ● 修理に伴う適切な部品をレコメンドする
003	自動診断機能がない/精緻化されていない	003	部品在庫の最適化	<ul style="list-style-type: none"> ● 部品データを蓄積し、在庫数を最適化する ⁵ ● 部品の利用に応じて自動的に調達する
006	作業員の抱負が大きい/ため、待遇を上げざるを得ない	004	作業員のスケジュール最適化・自動化 ³	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業員、車両、訪問先データを連携し、スケジュールの最適化、自動化をする ● 修理作業の時間を詳細に見積り、無理・無駄のないスケジュールを組む
007	修理実績データが生かされていない	005	消耗品自動発送	<ul style="list-style-type: none"> ● 消耗品をモニタリングする ● 自動で消耗品を顧客に発送する ● 消耗品データから在庫を最適化する
008	部品インベントリを自動化していない			

事業現場の**“ラストワンマイル”**データを収集したい

KEY POINT

鍵

機器稼働データや作業者の動きなどの **現場データ**も集める
事業活動に関する**データの不足**を解消する



Gravio

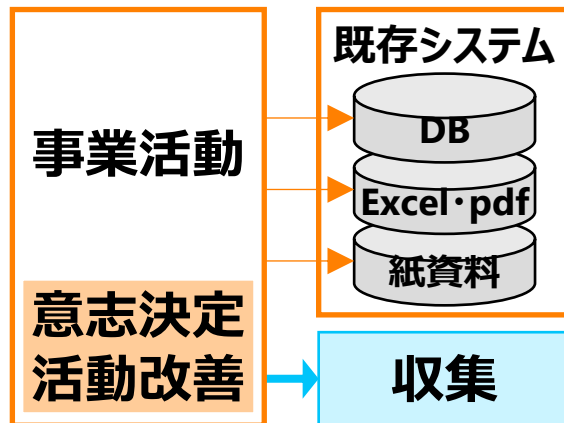
- 現場の様々な情報をノーコード・ワンストップで収集できるIoTプラットフォーム。
- **収集データを各種サービスと連携**することで 様々な情報の可視化・分析が可能。
- メッセージ通知や様々な機器の動作実行により **人に気づきを与える**ことも可能。

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

現在の事業状況から
得られる結果データ



事業現場からデータを収集するセンサー一例



事業現場の“ラストワンマイル”データを収集する

「Gravio」はアステリア株式会社の登録商標です。

必要なハードウェア・ソフトウェア・クラウド環境などを**一括提供**
センサーも豊富なので **アイデア次第**で様々なデータを収集・活用可能

LTE対応ゲートウェイ

入力例:センサー(スタンダード・アドバンスド)

出力例

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



表



裏



プッシュボタン
操作



ワイヤレススイッチ

環境情報
(温度・湿度・大気圧)



クライメートセンサー

振動検知



振動センサー

距離データ情報
(LiDAR)



ディスタンスセンサー

開閉情報



ドア・窓開閉センサー

人感(熱検知)情報



人感センサー

二酸化炭素
濃度情報



CO2センサー

ワイヤレス
ダブルスイッチ



所定の場所にあるcsvなども自動収集可

工場機器・PLCデータも収集可

他社デバイスも接続可

Gravio
LED
マトリックス

アイコンや文字が表示
できる電光掲示板です



Microsoft Excel

各種クラウドサービス
AWS/Azure/GCP

ChatGPT

など多数

メッセージアプリ連携

Microsoft Teams

LINE/LINE WORKS

など多数

本当に有効か実機で評価できる**無償トライアル期間**があるので **気軽に試せる**
導入時のセットアップ支援やアフターフォローもある

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



トライアルキット無償提供

事前検証用キットを3週間、無償提供

- ・ IoTゲートウェイ：1台
(GravioHub or Windows PC)
- ・ センサー表示機器：**10種類**
- ・ ネットワークカメラ：1台



コンサル/SI支援

- ・ パナソニックグループで培った知見で、SEによるコンサル支援、SI支援。
- ・ Gravio導入の仮説検証から、要件定義、本番導入までをトータルサポート。



アフターフォロー

- ・ 本番導入後も、専門知識を有するSEが手厚くサポート。
- ・ パナソニックグループで業務システムを継続的に運用するSEが、アフターフォローを提供。

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

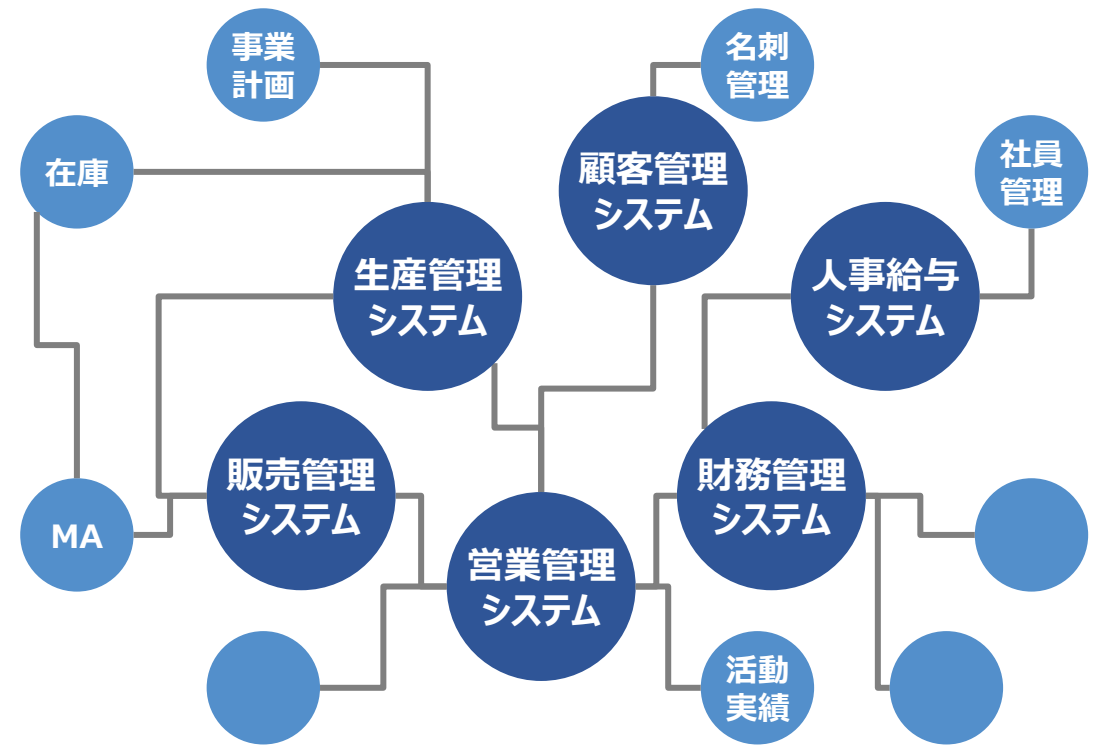
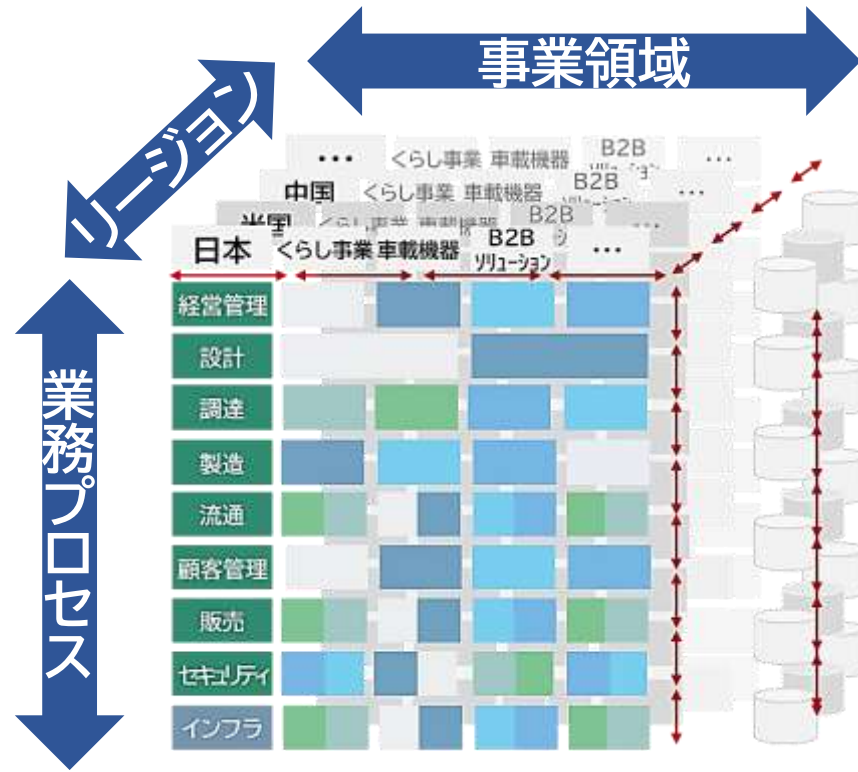
データの連携 と 蓄積



グループ全体のITは複雑化しがち…

ITの乱立と同時に、属人化・サイロ化が進みがち…

- 初期フェーズ
 - ・ビジネスアナリシス
- 中期フェーズ
 - ・データ収集
 - ・データ連携
 - ・データ蓄積
 - ・データ活用
- 最終フェーズ
 - ・データ活用
 - ・トレーニング



この資料のデータの出所はどこ？ / どのシステムが最新？ → **データに振り回されて現場は混乱！**
 源泉アプリデータの**一元管理**により「**正確かつ高鮮度なデータ**」の提供がポイント

KEY POINT

鍵

EAIによる一元管理によって シンプルなデータ管理が可能
データの抜け漏れ防止や障害発生時のリカバリーも容易に



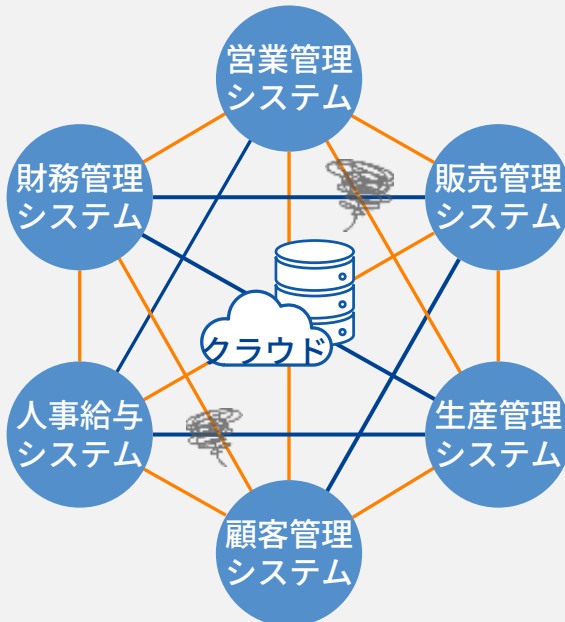
様々なシステムやサービスとの連携をノーコードで実施できる
業務の効率化やデータの活用を実現するデータ連携ツール

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

いままでは
連携インターフェースを個別開発で対応



システム間の違いを全て吸収し
インターフェースの一元化を実現



EAI :

Enterprise Application
Integration

企業内の様々なシステムをデータを
連携させることでアプリケーションの
統合を行うこと

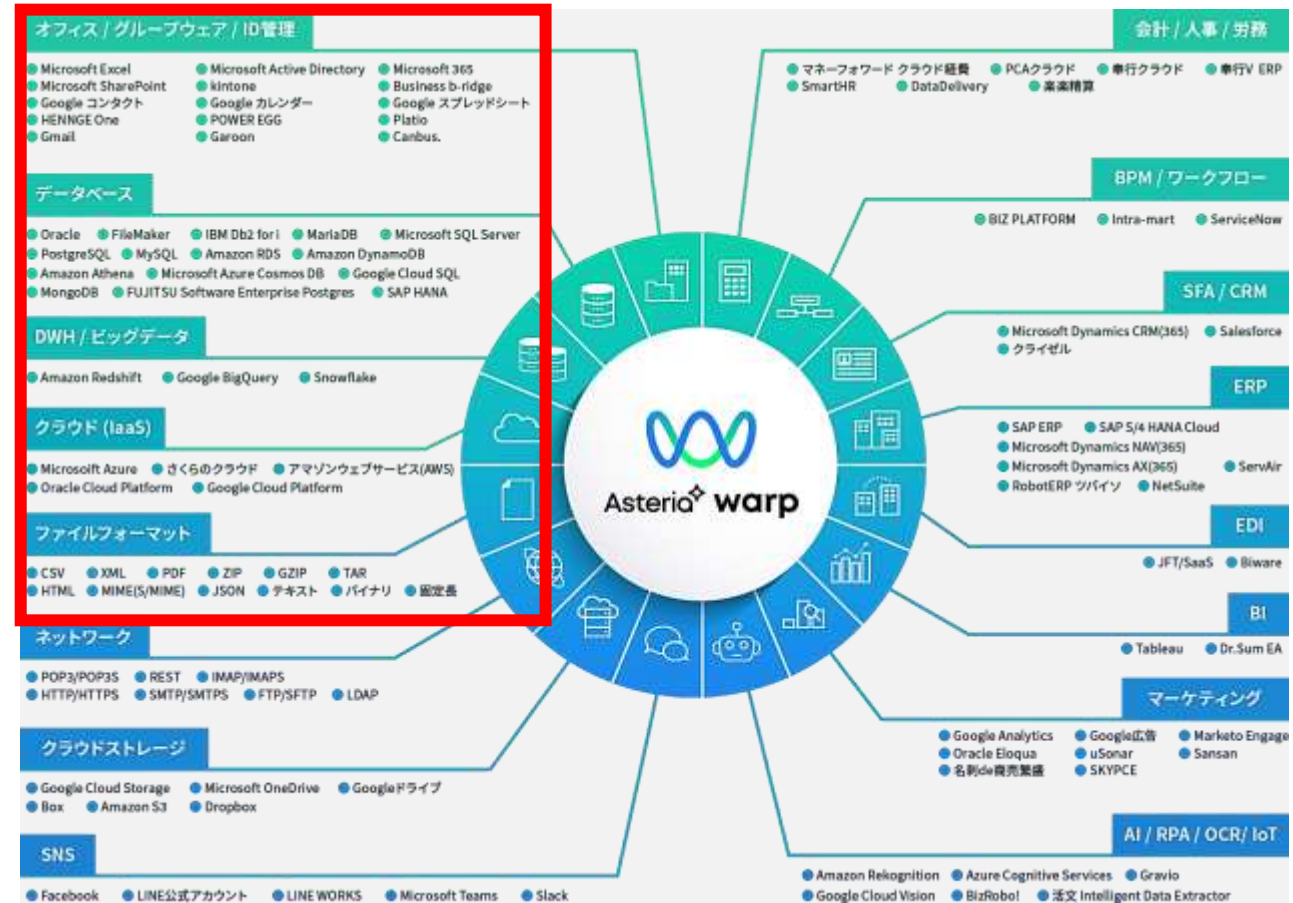
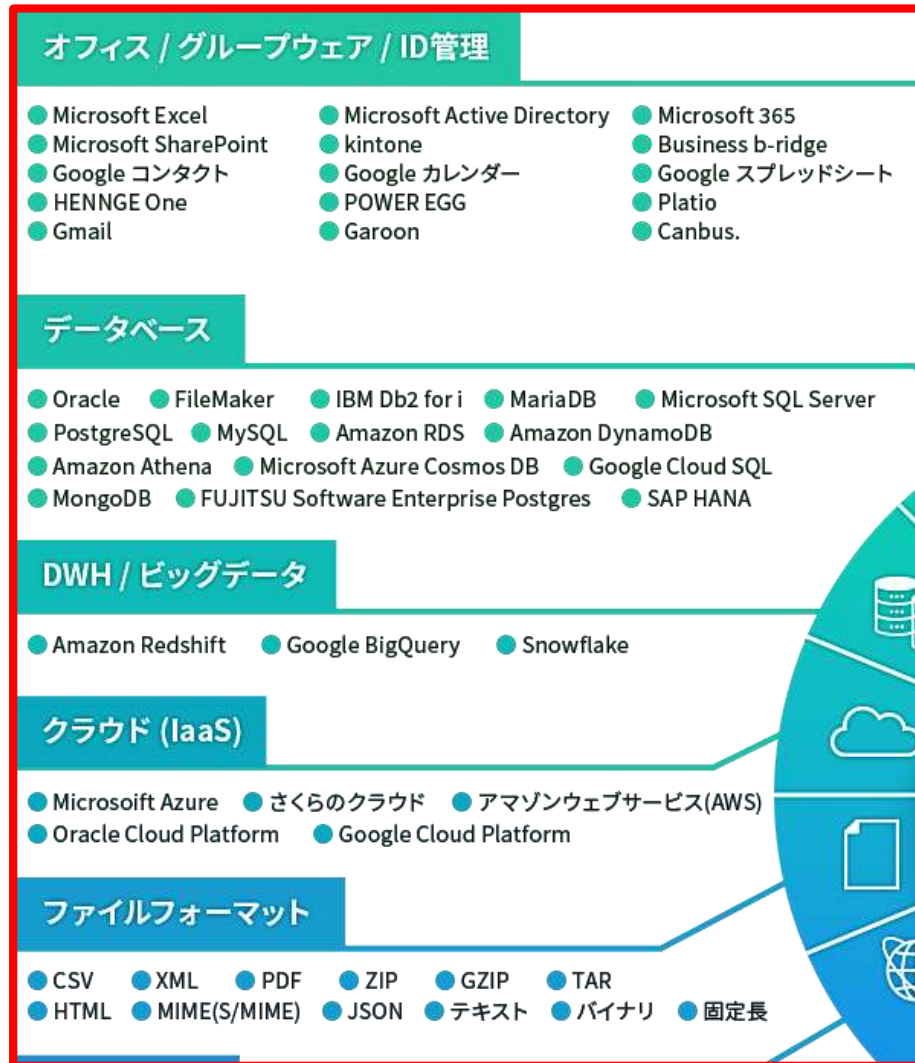
「ASTERIA Warp」はアステリア株式会社の登録商標です。

100種類を超える多くのインターフェース・データ・システム・サービスに対応 ※オプション含む

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



ASTERIA Warpマスターパートナーとしてのコネクションを活かしたお困りごとの解決へ

弊社からのご導入企業様の一例 (500社超)

ASTERIA Warpマスターパートナーの内

ASTERIA Warp 販売実績 **No.1**

- 日本貨物鉄道様
- オリックス不動産様
- アートグリーン様
- トップラン・フォームズ様
- 朝日インテック様
- ナイス様
- アネスト岩田様
- プロトコーポレーション様
- 浅沼組様
- ブレインパット様
- 東京農業大学様
- 古野電気様
- etc.

ASTERIA Warp Partner Award



アステリア株式会社
代表取締役社長/CEO
平野 洋一郎 氏

パナソニックHD(株) 執行役員/グループCIO
パナソニックIS(株) 代表取締役社長
玉置 肇

◆ Partner of the Year 受賞

2015年・2016年・2019年・2023年

◆ Excellent Partner 受賞

2013年・2020年・2021年・2024年

◆ Project Award 受賞

2020年・2021年

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

KEY POINT

鍵

手当たり次第に集められたデータは **信頼性が低い**
「少なくともここにあるデータは正しい」を保証することで **安心して使える**



様々な源泉アプリデータを一元管理し、**高品質・高鮮度なデータ**を各事業現場へ。

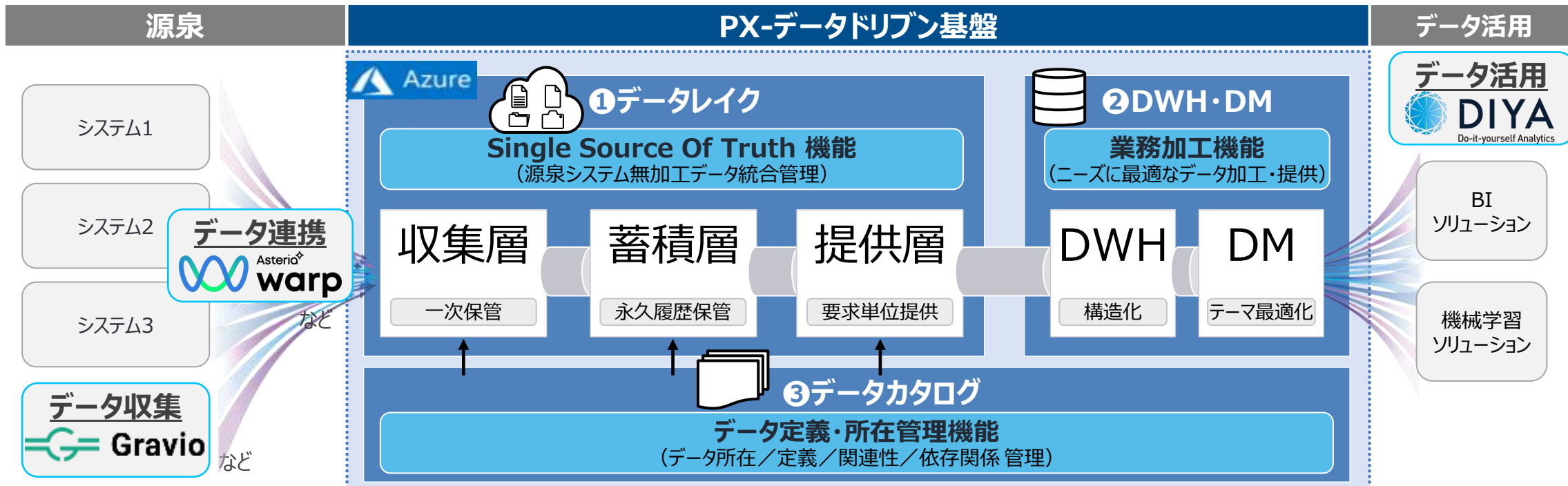
➤ 提供価値： ① データレイク ② DWH・DM ③ データカタログ

初期フェーズ
 ・ビジネス
 アナリシス

中期フェーズ
 ・データ収集
 ・データ連携
 ・データ蓄積
 ・データ活用

最終フェーズ
 ・データ活用
 トレーニング

PX-データドリブン基盤の構成



※データドリブン基盤は、パナソニックグループ内展開時のサービス名称です。
 ※ご依頼時は、貴社環境への構築/各ツールベンダーのSaaSサービスを組み合わせたの提供となります。

SSOTの原則のもと
「唯一正しいデータ」を
 一つの基盤に集約

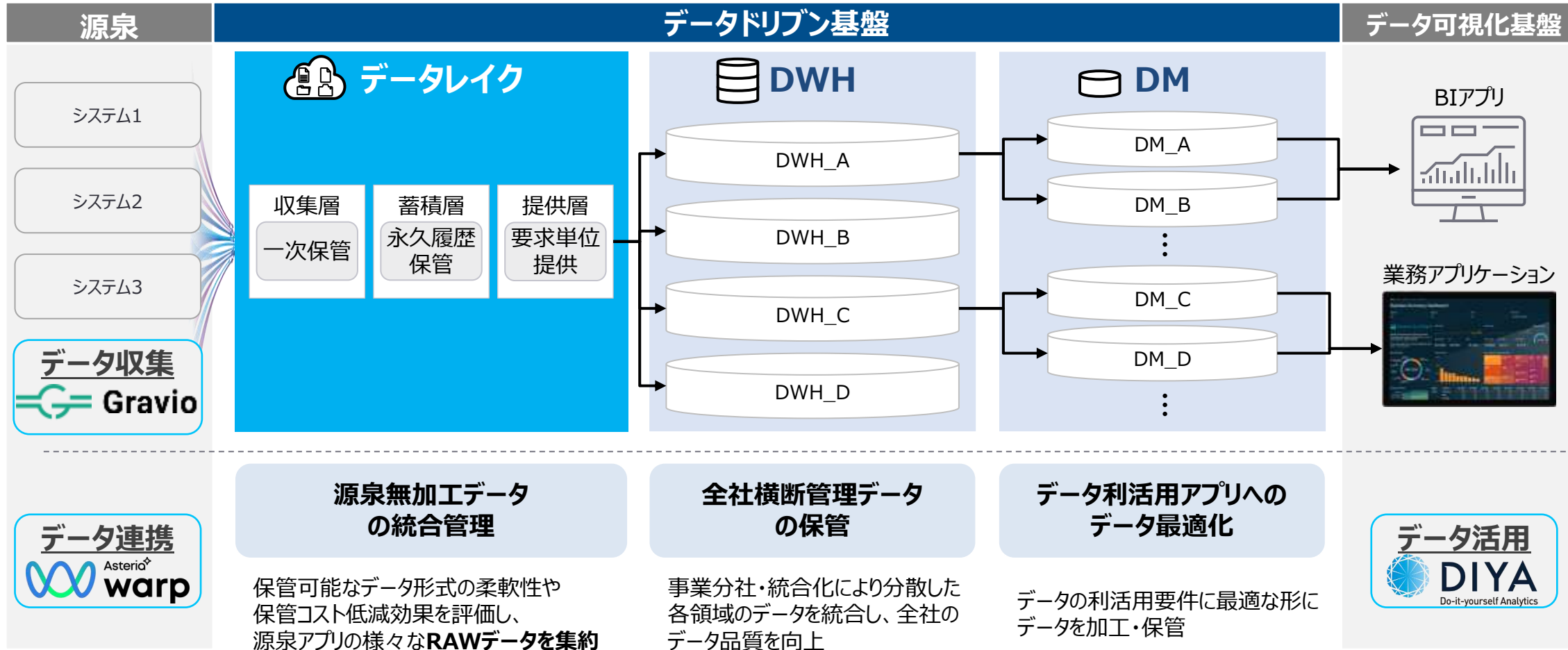
SSOT : Single Source of Truth(信頼できる唯一の情報源)

信頼できるただ1つのソースを確立することで、情報の一貫性と正確性を確保し、組織内の全員が同じデータに基づいてビジネスの意思決定を行うことを保証するために使用される概念。

初期フェーズ
 ・ビジネス
 アナリシス

中期フェーズ
 ・データ収集
 ・データ連携
 ・データ蓄積
 ・データ活用

最終フェーズ
 ・データ活用
 トレーニング



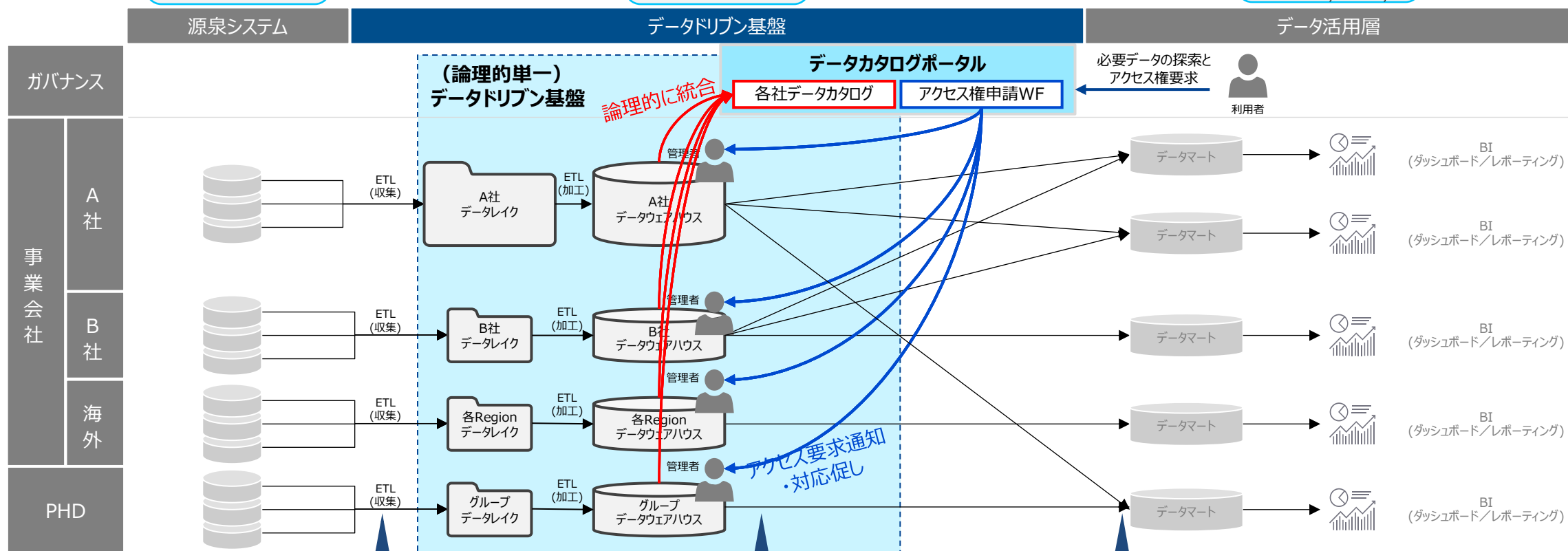
無理に一つの環境に統合はせず データカタログで基盤とデータを論理的に統合
データのガバナンスを効かせる体制・プロセスを検討



初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



各社ごとに管理すべき領域を決定し、SSOTの原則のもと、各社基盤で管理

データカタログおよびガバナンスルールに沿って、組織横断で論理的にデータ管理

適切なアクセス権管理に基づき、各基盤のデータは必要に応じてお互いに参照可能

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

データの活用 と トレーニング

「何をすべきか」「どうやって実現するか」の見極め・実装には**スキル**が必要
どのデータからどのように意思決定したかが**不明瞭**な場合 分析自体の信頼性を損なう

データサイエンティストに求められるスキルセット*



- 初期フェーズ
 - ・ビジネスアナリシス
- 中期フェーズ
 - ・データ収集
 - ・データ連携
 - ・データ蓄積
 - ・データ活用
- 最終フェーズ
 - ・データ活用
 - ・トレーニング

スキルセット	不足している現場では…
ビジネスアナリシス 改革プロジェクトへ参画し、現状のビジネスや業務における 課題形成と解決案 抽出を支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務に不必要な分析が増える ・ 欲しい結果が最短ルートで得られない
データアナリシス 分析の目的に即したデータ項目の調査や加工を行い、 可視化 や 高度分析モデル を提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場では使いにくい視点の数値が増える ・ 結果が理に適った数値なのか分からない
データエンジニアリング アナリシス活動で導いた 分析モデルを仕組み化 し、運用しやすいプラットフォームとして提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネス要件の変更に追従できない ・ 改良も難しいので放置・陳腐化していく

3つのスキルを持ち合わせた、分析を「作る」人員を最初から現場に求めるのは困難
まず 現場では**分析を「使う」**ことにフォーカスしてほしい

* 一般財団法人データサイエンティスト協会「データサイエンティストの ミッション、スキルセット、定義、スキルレベルを公表」 [http://www.datascientist.or.jp/news/2014/pdf/1210.pdf]を元に弊社で作成

KEY POINT

鍵

透明性のある意思決定のため、**正しいデータを正しく使う**必要がある
迅速に・あらゆる切り口で・何度も繰り返して分析できる環境の整備が不可欠



DIYA
Do-it-yourself Analytics

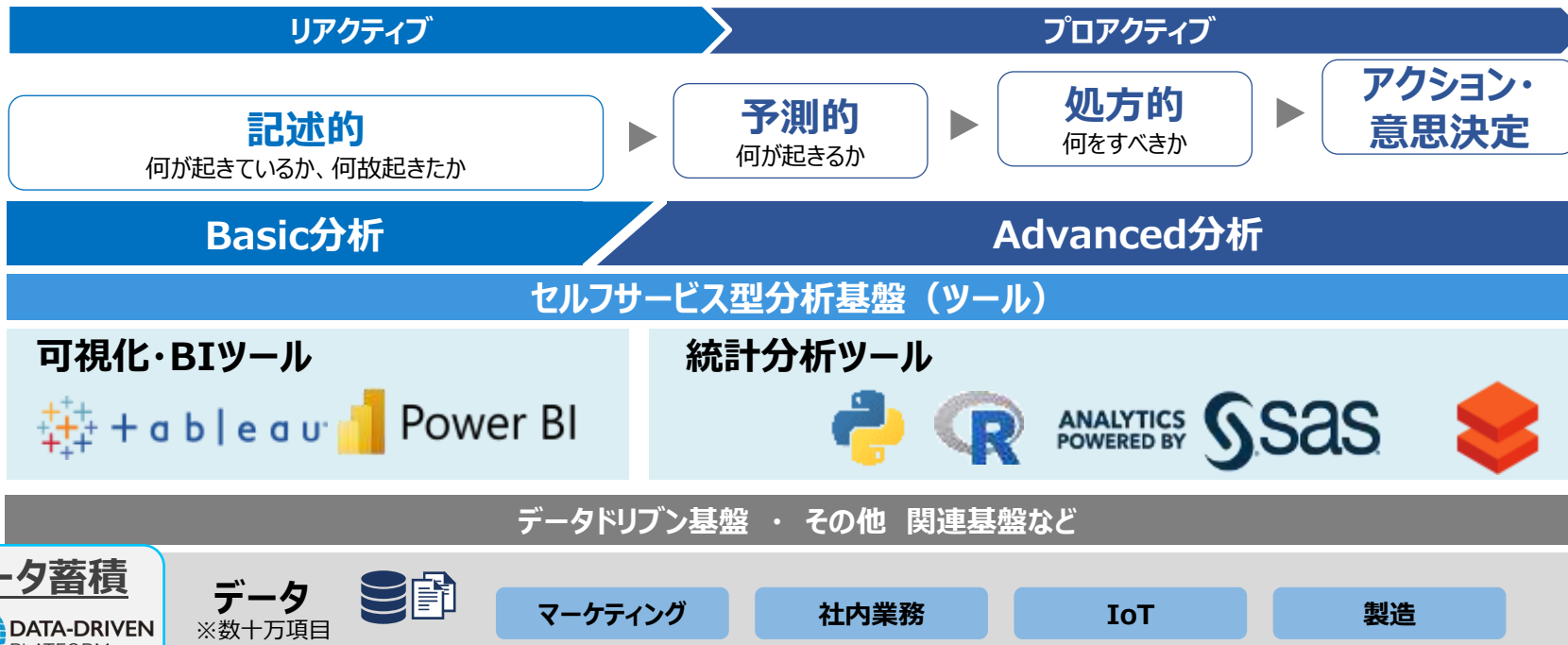
データ分析プラットフォームの構築だけでなくデータアナリストによる分析支援で、データ利活用の現場定着をサポート

➤ 提供価値： ① テクノロジー ② データ ③ ナレッジ&サポート

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



各事業の現場で
データドリブン経営
の加速へ

データアナリスト
によるサポート ③

- 分析技術サポート
- 分析テンプレート
- 教育サービス

※DIYAは、パナソニックグループ内展開時のサービス名称です。※記載の各ツールはパナソニックグループでの一例です。
※ご依頼時は、貴社環境への構築/各ツールベンダーのSaaSサービスを組み合わせでの提供となります。

ポイント①：あらゆる業務領域の知見をカバー

10年以上／延べ100部門以上と連携し培った **豊富な分析テンプレート** を保有

10テンプレート 200事例



10テンプレート 100事例



7テンプレート 20事例



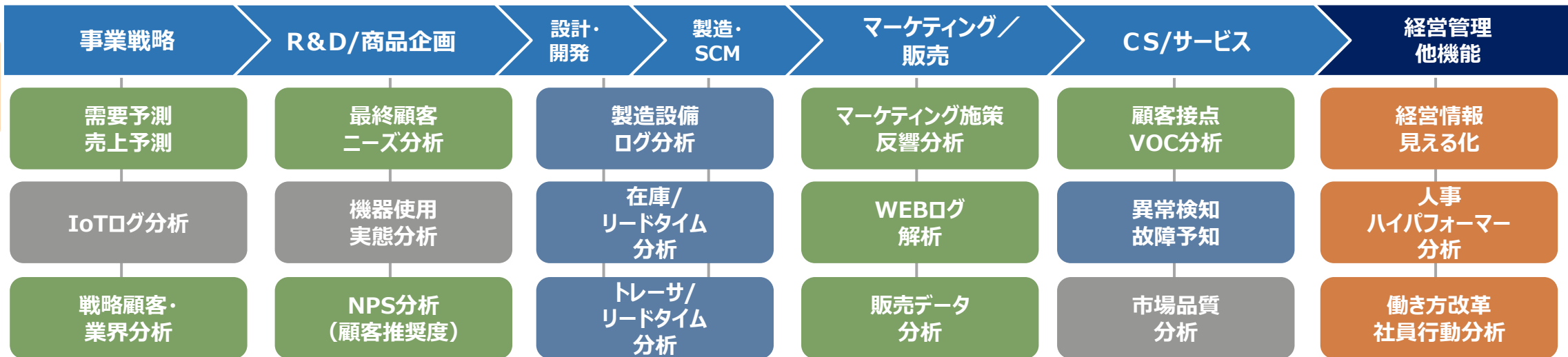
5テンプレート 10事例



初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング








変化の激しい時代のニーズに合わせて **ツールを適切に使いこなす** 必要がある
 各メンバーは お客様の要望に応えられるよう **日々ツールや分析手法の学習** を重ねている

初期フェーズ
 ・ビジネス
 アナリシス

中期フェーズ
 ・データ収集
 ・データ連携
 ・データ蓄積
 ・データ活用

最終フェーズ
 ・データ活用
 トレーニング

領域・データ例	データ収集	データ加工・可視化	分析・モデリング AI活用	ITで仕組化
 業務システムデータ ・販売データ ・見積もりデータ ・受注データ etc.	社内システム販売データ、 外部販売データ活用 社内業務システム、 ECサイト販売データ	目的に応じ、データ整理 取捨選択・追加・可視化 Tableau・PowerBI Python・SQL	統計分析・機械学習・AI活用 Python SAS Viya Salesforce CRM Analytics	高速検索・ITダッシュボード ・プロセス自動化・ML Ops Azure/AWS クラウド Tableau・PowerBI ASTERIA Warp
 SNS・ブログ ・X (旧Twitter) ・Facebook ・Web Blog ・Eコマースサイト etc.	グローバルリアルタイム データ収集ツール 独自収集ツールマクロ Sprinklr Qintly 他	独自辞書で広告ノイズ除去  各項目タグ付け	テキストマイニング・ ポジネガ分析 Sprinklr	商品企画用/ マーケティング用 サマリ化 見える化エンジン
 Webアナリティクス オープンデータ ・Webアクセスログ ・気象データ ・政府・統計局 ・地理データ etc.	オープンデータ情報源MAP 統計局・気象庁 MaxMind	大量・多様なログを 統合・クレンジング Microsoft Azure・AWS Databricks Snowflake	流入元分析 Geographic分析 Google Analytics	BIダッシュボード提供 ・プロセス自動化・ML Ops PowerBI Tableau PowerPlatform Databricks
 機器ログ ・製造センサーログ ・機器ログ etc.	クラウドITインフラ/ツール 目利き Microsoft Azure AWS	Microsoft Azure・AWS Databricks Snowflake	統計・機械学習・AI活用 Python Databricks	PowerBI Tableau PowerPlatform Databricks

KEY POINT

鍵

貴社ご担当者への**分析自走化**を進めることで
「いつも現場に定着しない」「分析視点が古いまま放置される」を克服

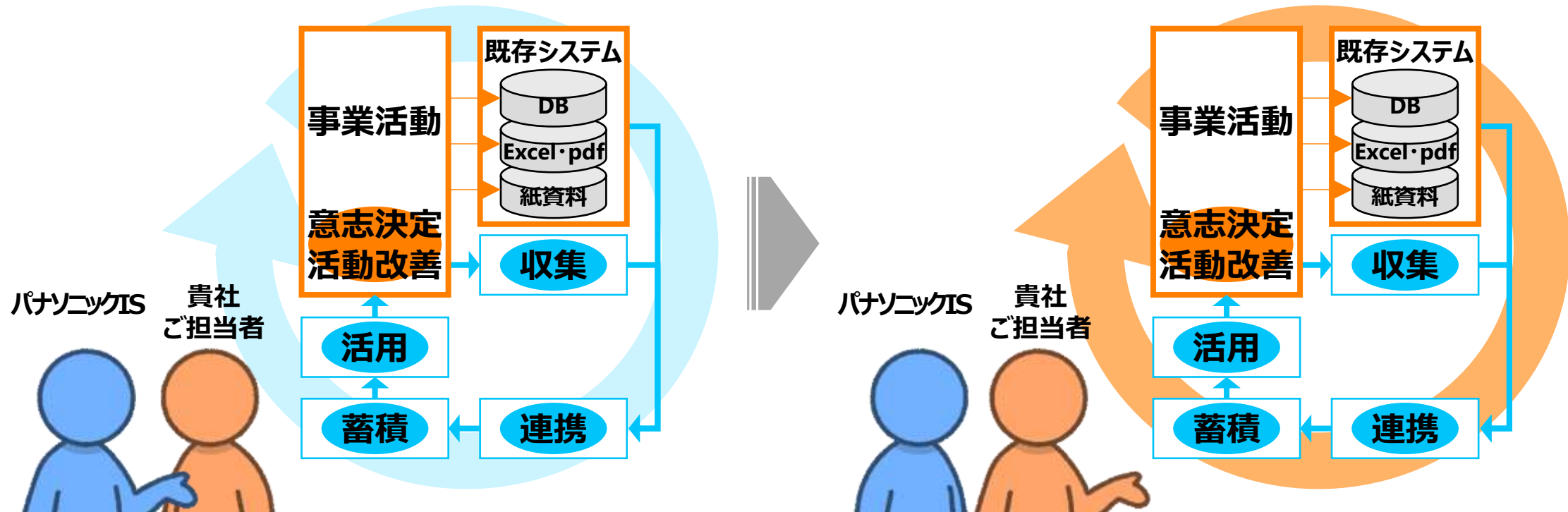
スタートはパナソニックISが伴走

徐々に貴社ご担当者へシフト

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



日々の活用や軽微な分析改善は貴社ご担当者で対応し パナソニックISはより技術的なサポートに注力
分析を「作る」人材を貴社に増やしていけば データ活用サイクルが軌道に乗る

自社内人材によるデータ活用が自走化できれば **事業活動の改善が加速**
「自分達で改善していく」マインドの醸成が不可欠

例：データ分析ツール研修 を通じた体系的な学び

PowerBI 初級講座 の例

1日目（3時間）

0. 導入

- **データ活用・可視化の重要性**
- BIツールとPowerBIの位置づけ
- Power BI概要
- **活用事例紹介**

1. データ取込と可視化

- ローカルデータの取込
- リレーション
- 基本的な可視化

2. データ加工（基本）

- PowerQueryデータ加工
- クイックメジャー

など

単なるツールの使い方だけでなく、
可視化の重要性やグラフの目的も講義

企業が持つデータが膨大になるにつれて、「データ可視化」の重要性は増えています。数値データよりも可視化されたグラフから直感的にデータを示す意味を理解するほうが簡単だからです。



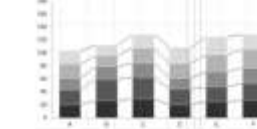
・何が言いたいのか、というメッセージに応じて、適切なチャートを選ぶため、頻出する典型的なグラフの形を学ぶ。

棒グラフ



- 量の大小を比較できる
- 時系列の推移も表せる

積み上げ棒グラフ



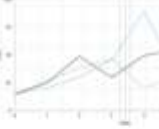
- 構成量を比較できる
- 時系列の推移も表せる

円グラフ



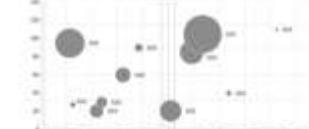
- 全体に対する各項目の構成割合を示す

折れ線グラフ



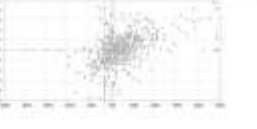
- 主に時系列の推移を示すのに用いる
- 項目間の関連も表せる

バブルチャート



- 3つの軸を利用した比較・分類が可能

散布図



- 全体の中でのある点の位置づけを表現できる
- 縦軸変数と横軸変数の関連を示せる

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

工場設備の可動・性能を分析し 異常要因の特定・業務改善が可能な状態へ

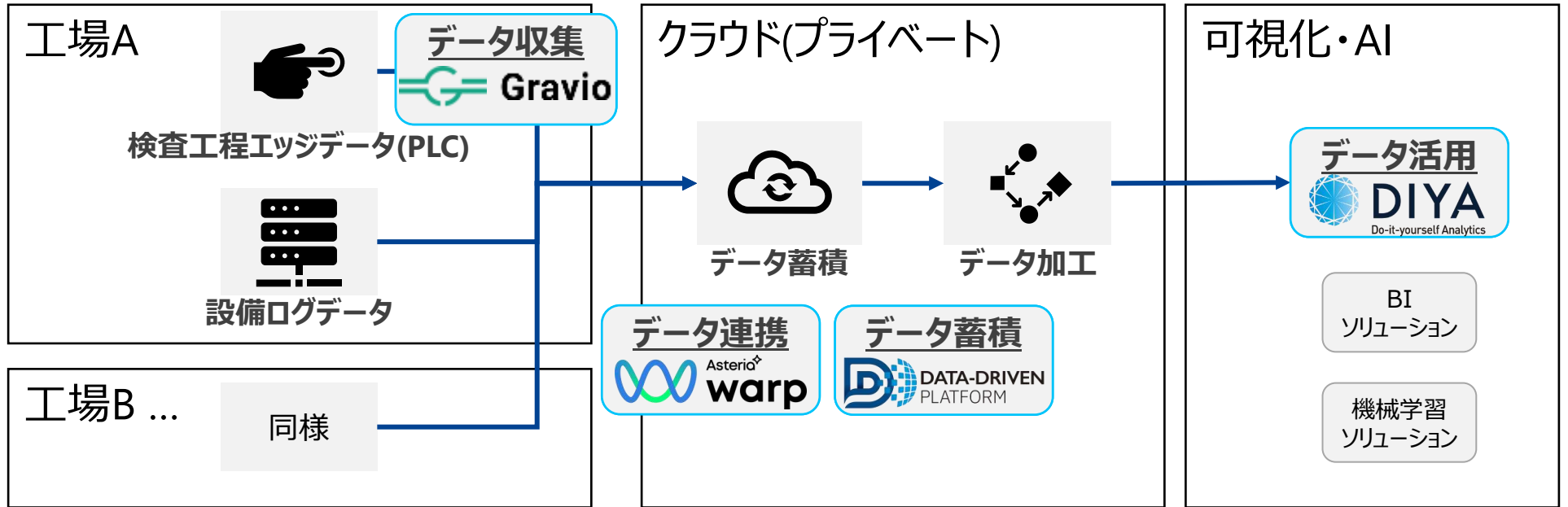
提供
サービス

エッジデータ収集+データ蓄積+BI可視化で、各工程のKPIをモニタリングできる環境を構築。
KPI良化達成に向けた現場テーマ活動(例:ライン切替ロス低減)など、データを活用した成果
刈り取りまで伴走支援。

顧客社内イントラ環境

クラウド環境

アーキテクチャ
概要



初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

※実際の複数案件を元に構成。各ポイントに設定したファイアウォールやProxyは図から省略。

工場設備の可動・性能を分析し 異常要因の特定・業務改善が可能な状態へ

提供
サービス

エッジデータ収集+データ蓄積+BI可視化で、各工程のKPIをモニタリングできる環境を構築。
KPI良化達成に向けた現場テーマ活動(例:ライン切替ロス低減)など、データを活用した成果
刈り取りまで伴走支援。

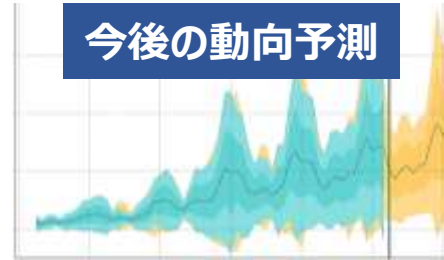
クラウド環境

KPI確認

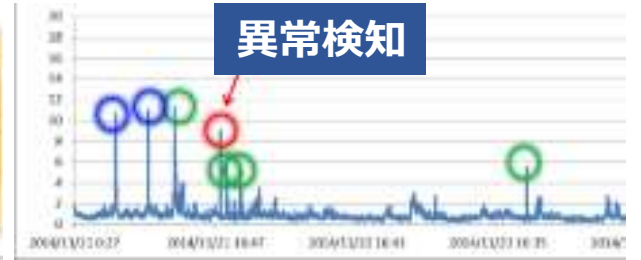
経営会議・検討会用
定型ダッシュボード



今後の動向予測



異常検知



可視化・AI

データ活用
DIYA
Do-it-yourself Analytics

BI
ソリューション

機械学習
ソリューション

アーキテクチャ
概要

非定型
アドホック分析



現場に伴走(イメージ)



初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

※実際の複数案件を元に構成。

まとめ：
データドリブン組織実現に向けたデータ民主化の鍵



鍵①：業務ニーズを見極め 適切なデータ活用サイクルの構築と 並行してデータ活用人材の育成を進める

鍵②：豊富な技術・経験・ノウハウを有し 成果が出るまで徹底的に伴走する **専門家集団**と**タッグを組む**

初期フェーズ

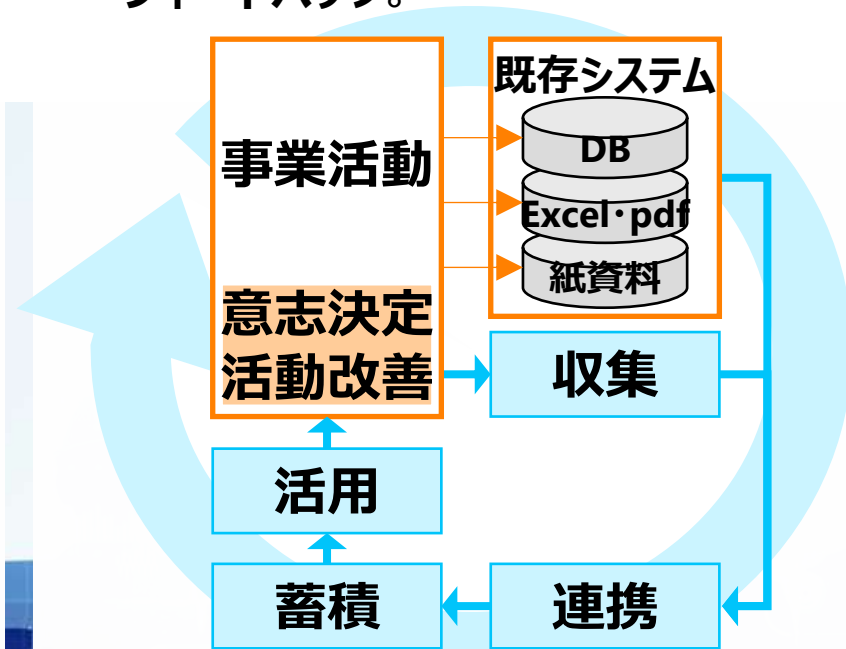
ビジネスアナリシス

- ツールや技術の導入から先行せず、業務ニーズや課題をヒアリング・整理。
- あるべき姿に向けたロードマップを描き、お客様に適したデータ活用サイクルをご提案。

中期フェーズ

データ活用サイクル構築

- 事業活動の結果を次の事業活動にフィードバック。



最終フェーズ

データ活用トレーニング

- パナソニックグループで培ったノウハウで、お客様の社内人材によるデータ利活用の自走を支援。
- 事業活動を自ら改善していくマインドを醸成。

データドリブン組織

データ民主化

誰もがデータを
使える状態にある

×

マインド醸成

誰もが自らデータで
意思決定を行える



※便宜上フェーズで区切っていますが、実際には同時並行で推進します。

パナソニック インフォメーションシステムズについて

パナソニックインフォメーションシステムズのご紹介

一般市場向けビジネス

パナソニックグループでの挑戦を通じ、B2B市場へ価値を提供



パナソニックグループのIT戦略をグローバルで支援

パナソニックグループのグローバルにおけるビジネスと経営をITで支え、Panasonic Transformation(PX)を推進しています。



データ統合・活用

クラウド連携
システム統合
企業間取引
データ戦略

働き方改革

テレワーク
RPA
勤務管理
クラウドストレージ

施設空間

チケット팅
POS
会員管理
データ分析

基幹業務

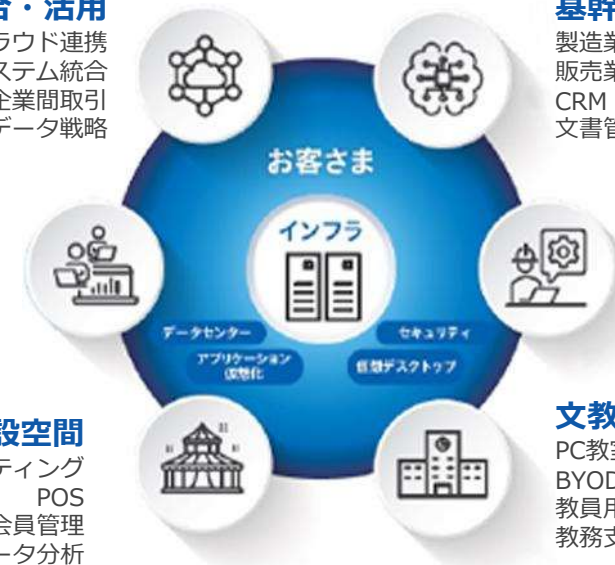
製造業務
販売業務
CRM
文書管理

製造現場支援

製造IoT
映像監視
フィールド業務支援
業務モバイルアプリ

文教・自治体

PC教室管理
BYOD
教員用端末
教務支援



Iデータ活用ソリューションについてもっと詳しく知りたい方へ

お気軽にお問い合わせください

お問い合わせ 

